

水田の畑地転換・園芸導入事例

J A全農にいがたでは、園芸品目の生産振興・面積拡大の支援のため、園芸用農業機械を県本部で取得し、J A・担い手への貸出しを、平成23年度からおこなっています。

今回は、「水田の畑地転換促進・輪作導入支援」にかかる取組みの事例を紹介いたします。

なお、もう一つの農機貸出しメニューである「地域実態に応じた野菜等産地形成支援」は、園芸導入から産地化に向けた支援策としてJ Aから好評をいただいております。J Aから要請を受けた機種を貸出し、3年後にJ Aから購入していただくことを前提とした取組みです。あわせてご活用ください。

1. 水田の畑地転換促進・輪作導入支援の概要

(1) 目的

耕盤破碎、細土化のための作業機、播種、定植用機械および収穫にかかる機械をJ Aに貸出し、水田の畑地化とそこでの園芸輪作導入にかかる省力・規模拡大を支援する。

(2) 貸出機種

【排水対策】

- ・クローラトラクタ+モミサブロー（弾丸付き）

【細土化対策】

- ・クローラトラクタ+アップカッターロータリー（畝立整形器+マルチャー付き）



モミサブロー



アップカッターロータリー

※ 掲載内容の無断使用・転載を禁じます。

【輪作対策】

- ・播種板＋鎮圧板（セット）
- ・野菜移植機（半自動）
- ・運搬車
- ・加工トマト収穫作業機

2. 事例紹介（平成28年度園芸担い手支援策活用事例）

（1）JA越後おぢや（個人）

- ア. 畑地転換 転換面積 90a、実施内容 耕盤破碎（サブソイラ施工）
イ. 導入品目 にんじん（12月～3月出荷）
ウ. 効果 排水性がアップし、品質・収量ともに向上することを目的にサブソイラを施工したが、28年度は秋の天候が多雨・日照不足であり、効果を実感できなかったが、29年度の品質・収量向上に大いに期待している。



サブソイラ



耕盤破碎

○サブソイラとは？

水田の作土の下にあるすき床層（心土）や、大型トラクタの重みでできた畑の硬い層（硬盤）を破碎し、水みちをつけて排水をよくする機械。トラクタに装着し牽引する。

（2）JA越後ながおか（法人）

- ア. 畑地転換 転換面積 60a、実施内容 耕盤破碎（モミサブロー施工）
イ. 導入品目 えだまめ（7月出荷） → キャベツ（10～11月出荷）
ウ. 効果 28、29年度ともに、えだまめ栽培には厳しい天候でしたが、モミサブロー等の施工により品質・収量ともに良好であり、今後の産地拡大に向けた生産安定の重要な取組みとなりました。
同JAでは、近年、急速にえだまめの生産拡大がすすんでいます。29年度は、共同選別施設・真空予冷施設の整備をすすめ、より一層の生産拡大にむけて取り組んでいます。

※ 掲載内容の無断使用・転載を禁じます。



J A越後ながおか えだまめ選別施設 低温室で選別、袋詰め作業

○モミサブローとは？

排水性の悪い水田では、暗渠までの水みちが確保されていない場合があります。モミサブローは、形成した溝にもみ殻を充填しますので、水みちをふさぐことなく、排水性を向上させます。（詳しくは、営農レポート 27年7月号をご確認ください。）

3. 平成 29 年度貸出し実績（予定含む）

（1）クローラトラクタ＋モミサブロー（弾丸付き）

越後中央（えだまめ等）、新潟みらい（えだまめ等）、にいがた南蒲（ねぎ等）、胎内市（キャベツ等）、えちご上越（えだまめ等）、越後ながおか（えだまめ等）、北魚沼（なす等） 計7 J A

（2）クローラトラクタ＋アップカットロータリー畝立整形器＋マルチャー付き

越後ながおか（加工トマト等）、羽茂（アスパラガス等）、佐渡（アスパラガス等）、魚沼みなみ（カリフラワー等）、津南町（ブロッコリー等）、越後中央（たまねぎ等）、にいがた南蒲（たまねぎ等） 計7 J A

多くのJ A、担い手生産者の方からご利用をいただき、「生産安定に大きな効果がある。」との声を多数いただいています。

貸出し料金等の詳細は、J Aにご確認ください。

最後に・・・

水田の畑地転換は、簡単なことではありませんが、水田での園芸品目の安定生産にとって、大変重要な乾田化や細土化にむけて支援を継続いたします。

高品質・多収の園芸生産に向けて、農機の貸出しをご利用ください。

不明な点はお近くのJ Aまでお問合せください。

お問い合わせ：J A全農にいがた園芸部・園芸総合課（Tel025-232-1553）まで

以上

（ 園芸部 園芸総合課 ）

※ 掲載内容の無断使用・転載を禁じます。